

活動状況表

四国支部 香川県部会

1. テーマ種別	環境学習
2. タイトル	ゴミの分別とリサイクルについて
3. 日時	平成 24 年 9 月 28 日
4. 場所	三豊市ごみ分別場および民間リサイクル工場
5. 協会担当部門	建設コンサルタント協会 四国支部 香川県部会
6. 概要	小学生を対象に家庭から出たゴミがどのように、分別されているのか、また、どのようにリサイクルされているかを、分別場や工場を見学することによって、その仕組み等について学習した。
7. 報告	<p>三豊市立詫間小学校 4 年生 3 クラス（約 90 人）を対象に、三豊市のゴミ分別場と民間のゴミリサイクル工場の施設を見学し、施設を管理・運営する関係者の方からご説明をいただいた。</p> <p>移動は大型バス 3 台を利用し、朝 8 時過ぎに小学校を出発し、昼の 1 2 時頃に戻った。</p> <p>最初に三豊市が委託しているゴミ分別場を訪れて、家庭から排出されたビン、カン、ペットボトル等のゴミがどのように分別されているのかを見学した。そして、回収されたゴミが人による手作業で細かく分類されていることも学んだ。さらに、三豊市ではてんぷら油の廃油を回収し、車の燃料として再生しているが、それがどのように精製され、燃料として再利用されているかを学んだ。</p> <p>次に民間のリサイクル工場では、あらゆるゴミが分別されている過程について見学した。また、それらがリサイクルされ、固形燃料等として生まれ変わるということについて学んだ。</p> <p>以上の 2 箇所を見学し、子供達はゴミを地区の回収場へ出す際の留意点やゴミはリサイクルが可能なことを学んだ。</p> <p>また、ゴミのポイ捨てや不法投機は自然環境を悪化させるばかりでなく、ゴミは資源であるということを確認し、資源を活用することの重要性について学んだ。</p>
資料	写真

● 出発前およびバスにて



今日の環境学習の目的について説明

●三豊市のゴミの分別場にて



カンの分別を最終確認している流れを体験



圧縮されたカンの前で説明



ペットボトルの分別の仕方について学習



圧縮されたペットボトルの前で説明



てんぷら油（廃油）の精製について学習

●民間のリサイクル工場にて



最初にゴミについて学習



工場内の見学の様子



工場内の見学の様子

●学校に戻り体育館にて



工場内の見学の様子



本日の御礼、総評